

添付資料1

池田町交差点事故対策事業

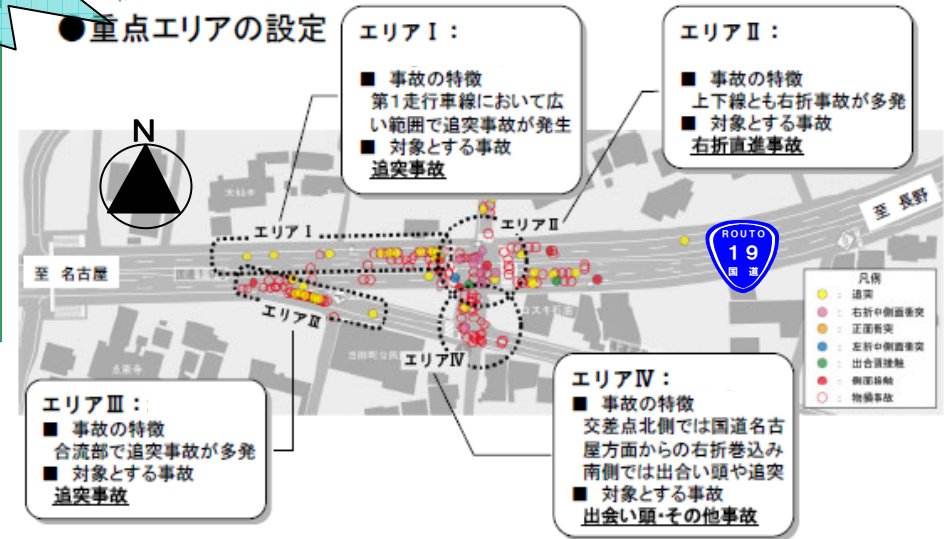
～ 官民一体で事故ゼロ達成

事故ゼロプラン箇所



事故の特徴整理

●重点エリアの設定



背景 『池田町交差点は、岐阜県内の事故多発交差点』

H21・・・ワースト7位 H22・・・ワースト3位 (岐阜県警調べ)

地域の意見は・・・事故が多い、信号無視、道路構造が悪いので右折時見にくい・走りにくい、県道側の逆走対策として右折レーン必要、独特の交通ルール、県道からの斜めに取り付く道路が合流しにくい 等

地域も道路管理者も警察もみんな危険と感じている。

そこで、地域住民、関係機関等が集まり検討会を発足

検討会構成メンバー

多治見市地元区長、地元公民館長、東濃地区交通安全協会多治見支部
国、県、市

全体の流れ

第1回 【平成21年3月3日(火)】

- 概要説明 ○事故発生状況の説明
- 対策原案の説明

第2回 【平成21年8月18日(火)】

- 交通状況の確認 ○対策原案の確認

第3回 【平成21年9月17日(木)】

- 対策方針の確認
- 対策案の検討 ○社会実験実施の確認

第4回 【平成21年12月22日(火)】

- 交通調査の結果報告
- 対策工の検討

第5回 【平成22年3月15日】

- アンケート調査の結果報告
- 対策工の確定

第6回 【平成23年2月7日】

- テーマ: 対策案の決定
- これまでの経緯のまとめ
- 対策案の決定

第7回 【平成23年3月18日】

- テーマ: 対策工の決定
- 協議結果の報告
- 対策工の決定

第1回検討会風景



事故の多い箇所をエリア毎に対策検討

詳細な課題整理は、添付資料2, 3参照

添付資料2・・・地域の方々の思っている課題と対策

添付資料3・・・主な事故要因・課題

決定された事故対策内容は、添付資料4を参照

※ 事故ゼロプラン(岐阜県版)・・・交通安全事業の効率を高めるとともに、県民の皆様と一体となって重点的に交通事故を減少させるための新たな取り組み。

添付資料2

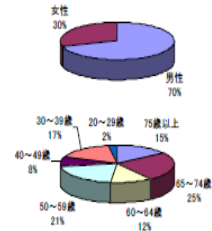
地域の方々の思い ～地域の方々が考える課題と対策～

池田町交差点事故対策アンケート(1)

実施日:平成22年1月15日～平成22年1月31日

アンケート配布数:518通

回収率:36%(188通)



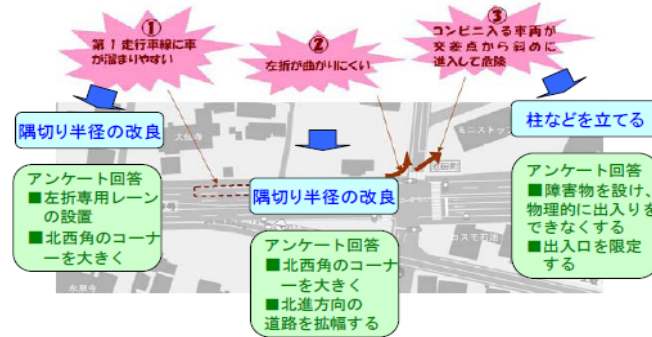
アンケート配布エリア

●対策案一覧

地域の方々が考える問題点と対策案			検討会が考える対策案
問題点	対策案(アンケート上位1, 2位の回答)		
1 第1走行車線に車が溜まりやすい	左折専用レーンの設置	北西角のコーナーRを大きくする	隅切り改良
2 左折が曲がりにくい	北西角のコーナーRを大きくする	北進方向の道路を拡幅する	隅切り改良
3 コンビニにはいる車両が斜めに進入し危険	障害物を設け、物理的に出入りをできなくする	出入口を限定する	柱などを立てる
4 交差点の南北のズレ	道路を改良してズレをなくす	改善の必要なし	交差点改良、誘導
5 対向に右折車がいると先の見通しが悪い	信号現示や矢印信号で調整する	道路を拡幅し、右折・直進・左折のレーン分けをする	セバレート信号、正対化
6 池田町交差点で名古屋方面の左折がある	左折禁止や明確に表示し、徹底させる	改善の必要なし	矢印信号の設置
7 交差点東側において南北の歩行者導線の確保	GS跡地に歩道を設置する	県道にも横断歩道を設け、導線を連続させる	歩行者導線の確保
8 植栽で国道の先が見えにくい	植栽を撤去し、見通しを良くする	改善の必要なし	植栽の撤去
9 右折車が多いと名古屋方面の直線が通れなくなり反対車線へ出て通り抜ける車がある	道路を拡幅し、右折・直進のレーン分けをする	交通取締りを強化する	県道での右折車線確保
10 農道側の滞留長が長く沿道から県道へ出にくい	道路を拡幅し、右折・直進のレーン分けをする	改善の必要なし	県道での右折車線確保
11 国道へ入る際、国道側の交通が見えにくい	合流する角度を改良する	停止を引き、交通確認を徹底させる	合流角度の見直し(停止線不可)

対策案の検証 (エリアI)

●対策案の整理



対策案の検証 (エリアII)

●対策案の整理



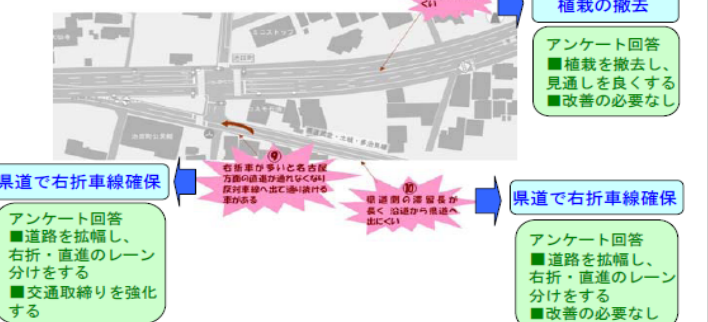
対策案の検証 (エリアIII)

●対策案の整理



対策案の検証 (エリアIV)

●対策案の整理



添付資料3

おもな事故要因・課題

(長野方面を望む)



ア) 下り線の滞留長の様子
※第2車線側は速度を変えず進入



イ) 大型車左折時の車線の閉塞
※後続車両は停止してしまう

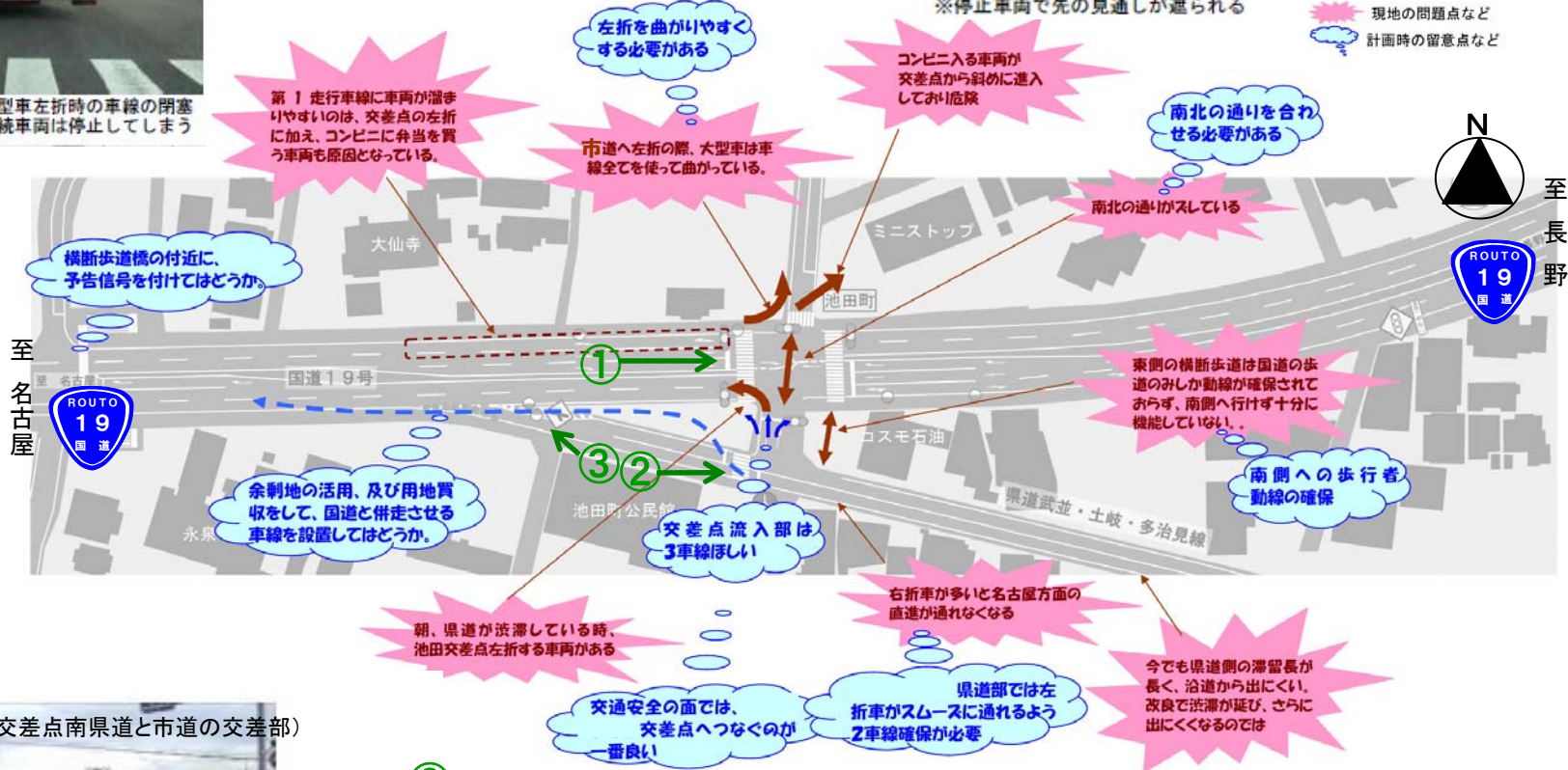


ウ) 下り線 右折車線からの視線
※停止車両で先の見通しが遮られる

現地の問題点など
計画時の留意点など

③

(名古屋方面を望む)



② (池田町交差点南県道と市道の交差点)



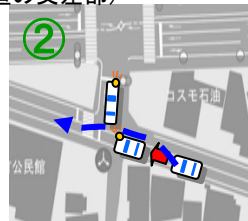
エ) 大型車の左折が出来ず停止状態にある
※後続車両は停止してしまう

②

(池田町交差点南県道と市道の交差点)



キ) 県道右折車と直進車の様子
※右折車(白)の横を直進車がすり抜け



添付資料4

国道19号池田町交差点事故対策内容

★ H23年度から、整備を行って行きます。

① 池田交差点下り流入側は、第1走行車線と第2走行車線の速度があり、第1走行車線車が錯覚を起こしやすい。
 ↓
 速度差が起こる原因に、第1走行車線のすみ切りが小さいために、左折時に速度が低下し、追従車が詰まる形態となっている。
 ↓
【すみ切り改良、カラー舗装、交差点表示】(国)
 すみ切り改良を行い、スムーズな左折ができるようにする。また、速度抑制を促すため、カラー舗装、交差点表示を行う。

② 【横断歩道部の歩道整備】(国、市)
 池田交差点下り流入側すみ切り改良に伴い、既設横断歩道をセットバックする必要があり、合わせて、たまり機能としての歩道整備を行う。また、同時に国道取り付け部の市道拡幅も行う。

③ 【防止柵設置】(国)
 下り線側走行車から上り線走行車が見えにくい事から、植栽帯を撤去し、防止柵を設置。

④ 【国道右折分離信号】(公安委員会)
 国道右直の事故を抜本的に改良する対策として、右折分離信号を設置。(直進と右折の現時を分ける)

⑤ 【国道合流部改良、カラー舗装】(国)
 なるべく直角に近いかたちでの合流になるように、ポストコーンにより線形修正。また、カラー舗装による注意喚起。

⑥ 【中央分離帯改良】(国)
 対向右折車及び直進車の視認性向上のため、正対化

⑦ **【車道拡幅改良】(県、市)**
 ⑧の対策として、県道側の左折すみ切り改良を行う。
 ⑨の対応として、県道から19号へ斜めに取り付く道路へ直進する車両の通行確保のため、県道側を2車線とし、池田交差点への流入車両と名古屋方面への斜め直進道を分離する。
 ↓
 ただし、この対策は、長期計画とし、当面、県道の逆走防止対策として、ポストコーンを設置する。

ここが曲がりにくい
 ため、滞留

逆走